

名教スタッフ版

よめよめグラフィック

名前

平野 貴義

★読んだ本について書いてみよう。

付	日
11月	1日

数	ページ
94	ページ

①本の題名

チーズはどこへ消えた？

②本の作者

スペンサー・ジョンソン (訳 門田 美鈴)

③私のおすすめの本を、紹介します。

仕事や生活など、私たちの身の回りの状況は、絶えず変化していきます。みなさんは、そんな変化に直面したとき、どう対応しますか？この本は、一見シンプルな内容ですが、「状況の変化にどう対応すればいいのか」といった深い内容が込められています。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

登場するのは、2匹のネズミと2人の小人だ。彼らは、いつも迷

路の中で、チーズを探し回っていた。そしてある日、大量のチーズ

を発見した。

小人と同じような態度をとってしまったことがあるのでは

2匹のネズミは、こんな状況がいつまでも続くはずはないだ

ないか・・・？ ということに気付かされます。

ろうと、毎日変わったことがないか調べていた。一方、2人の小人は、その状況に満足していた。そこにずっとチーズはあるだろうとすばやく適応すること。そして、自分を変える勇気を持って行安心しきっていた。そのため、知らないうちに何が進行している動することが大切だ。」ということが、この本の大きなテーマでことに気付かなかったのだ。

ある日、チーズはなくなっていた。

私は、幸せなとき、今この瞬間がずっと続けばいいなって思

ネズミたちは、事態を詳しく分析しようとしなかった。状況が変わ化したのだから自分たちも変わることにして、すぐに新しいチーズを探しに出かける。一方、小人たちは、どうしたか？ チーズがないもの、一度手に入れた幸せや、今の居心地の良さに満足いなかったからだ。状況の変化にすぐに対応することができなかった。きないことも多いです。そんなとき、その場に立ち止まっている状況を詳しく分析したが、結果として何一つ解決しなかった。チーズも、じっとしていても何も解決しません。自分を変える勇気ズはいつか戻ってくるかもという期待を持ってみたり、現状に不満を持って、前へ進むことが大切ということをこの本から学びまを募らせるばかりで、その場から動けないでいた。すぐに次の一步

わが、読んてみました。